

平成 24 年度事業計画

I 公益目的事業 [1]

(1) 研究発表会事業

- 1) 2012 年秋季低温工学・超電導学会 (通算第 86 回)
 - ・会期: 2012 年 11 月 7~9 日
 - ・会場: アイーナいわて (盛岡市)
- 2) 調査研究会として、次の 5 テーマを実施する。
 - ・「磁場を用いた物質挙動制御技術に関する調査研究会」
 - ・「先端的極低温冷却技術調査研究会」
 - ・「応用熱音響研究会」
 - ・「MgB₂ および鉄系超伝導材料の特性制御に関する調査研究会」
 - ・「特異的機能性に着目した新規超電導応用技術に関する調査研究会」

(2) 学会誌出版事業

- 1) 第 47 巻 4 号~48 巻 3 号の 12 冊を発行する。
- 2) 特集テーマとして以下を予定している。(仮題)
 - 「超電導発見第二世紀について考える」
 - 「高エネルギー加速器分野における次期高磁場マグネットの現状」
 - 「高温超電導回転機に関する研究開発の現状と将来展望」
 - 「イットリウム系線材の開発動向」

(3) 国際交流事業

- 1) ICEC24-ICMC2012 を支援する。
- 2) 近隣国関連学会との連携を深める。
- 3) ACASC2013 (トルコ開催) の準備を支援する。

(4) 広報・広告関連事業

- 1) 社会並びに会員への広告・広報活動を実施する。
- 2) 技術相談受付活動を始動する。
- 3) 広告の充実化活動を行う。
- 4) メーリングリストの整備を行う。

(5) ホームページ事業

- 1) ホームページを再デザイン及び内容を充実化する。
- 2) ホームページの英語版を作成する。

(6) 教育・セミナー事業

- 1) 極低温技術スクールを開催地域研究機関と連携し、年 1 回開催する。
- 2) 公開講演会および超電導展示会を年 1 回開催する。

(7) 環境・安全関係事業

- 1) 委員会を年数回開催する。
- 2) 規制緩和内容の絞り込みを行う。
- 3) 冷凍部会、材料研究会、超電導応用研究会等との連帯 WG 活動を行う。
- 4) 他専門家を交えた WG 活動を行う。
- 5) 規制緩和の整理と提言案を作成する。

(8) 研究会事業

- 1) 材料研究会を年 4 回開催する。
- 2) 超電導応用研究会を年 4 回開催する。

(9) 関西支部事業

- 1) 支部総会を年 1 回開催する。
- 2) 講演会を年 4 回開催し、見学会を 2 回開催する。
- 3) 特別講演会を開催する。
- 4) 第 28 回基礎技術講習会を開催する。
- 5) 役員会を年 3 回開催する。
- 6) 支部情報発信のため、支部ホームページを拡充する。

- (10) 東北・北海道支部事業
- 1) 支部総会、講演会を年1回開催する。
 - 2) 研究会を年1回開催する。
 - 3) 超電導・低温若手セミナーを年1回開催する。
 - 4) 市民講演会を年1回開催する。
 - 5) 合同学術講演会を年1回開催する。
 - 6) 役員会を年3回開催する。
- (11) 九州・西日本支部事業
- 1) 支部総会、企業セミナーを年1回開催する。
 - 2) 若手セミナー・支部成果発表会を年1回開催する。
 - 3) 研究会・特別講演会を実施する。
 - 4) 超電導・低温技術レポートをまとめる。
 - 5) 理科啓発活動の充実を図る。
 - 6) 役員会を年4回開催する。
- (12) 冷凍部会事業
- 1) 講演会、見学会等を年8回開催する。
 - 2) 海外で開催された学会の最新技術動向の報告会を開催する。
 - 3) 学会併設展示会を1回開催する。
 - 4) 極低温技術夏合宿を実施する。
 - 5) 年間講演集を発行する。
- (13) 基盤強化事業
- 1) 公開講演会を支援する。
 - 2) 国内外学会と交流する。
 - 3) 国際若手セミナーを開催する。
 - 4) Web強化ならびにパンフレットを更新する。
- (14) ICEC24-ICMC2012 国際会議事業
- ・ 会期：2012年5月14～18日
 - ・ 会場：福岡国際会議場（福岡市）
- (15) 名簿発行事業
- 2012年度版会員名簿を発行する。
- (16) コミュニケーション事業
- 1) 高温超電導機器冷却冷凍機に関するワークショップほかを開催する。
 - 2) 超電導モーターに関する講演会ほかを開催する。
 - 3) 市民講座・低温工学と超電導（岩手）を開催する。

II 公益目的事業 [2]

- (1) 褒賞事業
- 1) 平成24年褒賞
 - ・ 論文賞（低温工学 第45巻、第46巻）
受賞者：仲村高志、伊藤佳孝、吉川雅章、坂井直道、成木紳也、平林 泉、内海博明
対象論文：「バルク超電導体を用いた小型無冷媒磁石のNMR応用-NMR信号を用いたバルク磁石の評価-」
低温工学 第46巻3号、139～148頁
 - ・ 奨励賞 受賞者：小黒英俊、尾花哲浩
 - ・ 業績賞（学術業績）：該当者無し
 - ・ 業績賞（工業技術業績）
受賞者：住友重機械工業（株）「4K冷凍機グループ」
代表者 小泉達雄、伊藤勝彦、池谷陽一郎、佐藤敏美、李 瑞
 - ・ 功績賞
(学術・技術功績)：該当者無し
(学会活動功績)：該当者無し
 - ・ 優良発表賞 受賞者：
尾崎壽紀「拡散プロセスを用いたFeSe超伝導線材の作製」
梶谷秀樹「ITER超伝導コイル用ケーブルインコンジット導体の性能評価」

杵村陽平「低圧純酸素雰囲気下における RE123 溶融 凝固バルクの作製」
児玉一宗「Premix-PIT 法により作製した MgB₂ 単芯線材の Jc-B 特性」
嶋田雄介「Al テープ上に作製した MgB₂ 薄膜の微細組織構造」
寺尾 悠「複数積層させたタイル状バルク超電導体の着磁特性」
中川公太「温度感受性リポソームを用いた磁気力制御薬剤配送システムの基礎的研究」
仲村高志「EBCO バルク超電導磁石を用いた MR マイクロスコピ」
平山悠介「磁性蓄冷材 Ho_xEr_{1-x}N の熱伝導率」
宮崎寛史「イットリウム系 12 積層コイルの磁場中通電試験(2)—バックアップ 4T 磁場中通電試験—」

III 法人関連事業（共催、協賛及びシンポジウム・講演会等）

1. 社員総会・理事会等に関する事項

(1) 第 2 回社員総会

- 1) 日時：2012 年 5 月 14 日、15:00-16:00
 - 2) 場所：福岡国際会議場（財団法人福岡コンベンションセンター）中会議室 502
 - 3) 議案：平成 23 年度決算報告、平成 24,25 年度役員選任、平成 24 年度予算計画
- (2) 理事会開催 定例 4 回、臨時 1 回
(3) 運営委員会開催 4 回

2. 共催、協賛及び後援のシンポジウム・講演会等

- ・「第 38 回シンポジウム/第 16 回超伝導科学技術賞授賞式」協賛（於：タワーホール船堀）
主催 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 2012 年 4 月 17 日
- ・「第 46 回空気調和・冷凍連合講演会」協賛（於：東京海洋大学）
主催：日本冷凍空調学会、日本機械学会、空気調和・衛生工学会 2012 年 4 月 18 日
- ・「第 184 回研究会・第 20 回強磁場応用専門研究会共催—強磁場を利用した物質分離技術」協賛（於：中央大学駿河台記念館）
主催 日本磁気学会 2012 年 5 月 25 日
- ・「講習会—スターリングエンジンの開発動向—震災復興に向けて」協賛（於：日本機械学会会議室）
主催 日本機械学会 2012 年 6 月 29 日
- ・「第 52 回（2012 年度）真空夏期大学」協賛（於：ヤマハリゾートつま恋）
主催 日本真空学会 2012 年 9 月 4-7 日
- ・「真空技術基礎講習会 第 18 回真空ウオーキングコース」協賛（於：神奈川県産業技術センター）
主催 日本真空工業会 2012 年 9 月 10-14 日
- ・「第 9 回流動ダイナミクスに関する国際会議(ICFD2012)」協賛（於：ホテルメトロポリタン仙台）
主催 東北大学グローバル COE プログラム 2012 年 9 月 19-21 日
- ・「第 15 回スターリングサイクルシンポジウム」協賛（於：明星大学）
主催 日本機械学会 2012 年 11 月 17 日
- ・「第 25 回国際超電導シンポジウム (ISS2012)」協賛（於：タワーホール船堀）
主催 財団法人超電導産業技術研究センター 2012 年 12 月 3-5 日
- ・「第 15 回ミレニアム・サイエンス・フォーラム」後援（於：英国大使館）
主催 ミレニアム・サイエンス・フォーラム 2012 年 11 月 14 日予定
- ・他